



IR HANDBOOK

第64期 事業のご報告
2012.4.1▶2013.3.31

人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します。

拡大・成長
牽引部門

貴金属関連事業

売上高構成比
74.7%

事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが貴金属事業のルーツです。回収した定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、廃酸・廃アルカリの無害化処理を行う環境事業へとつながりました。



貴金属事業の概要

半導体・電子部材の販売、貴金属地金・貴金属化成品の製造、貴金属のリサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界、半導体・電子部品業界を主要顧客としています。

環境事業の概要

感光材料に含まれる銀のリサイクル、産業廃棄物の収集・運搬、廃酸・廃アルカリなどの無害化中間処理、リサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

- めっき用化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
- 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社製の貴金属地金は世界の流通市場が品質を保証。

環境事業の強み

産業廃棄物処理などトータルリサイクルサービスを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

事業フロー



安定的成長
部門

食品関連事業

売上高構成比
25.3%

事業の成り立ち

1935年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみや農産品・畜産品の取扱へと拡大しました。



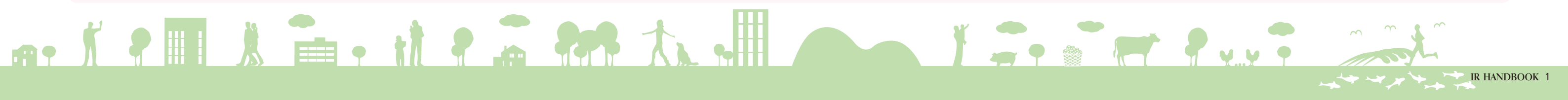
事業の概要

欧米・アジア・アフリカなど世界各地にネットワークを広げ、安全な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

- ユーザーが最も使いやすい形態・ロットでフレキシブルに一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな商品を提供。
- 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で差別化。
- すりみ、エビ、タコ、貝、卵、畜産品、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な商品を提供。

事業フロー





事業環境の変化を着実にとらえ、
持続的成長へ向けた取り組みを
グローバルに展開していきます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2013年3月期（2012年4月1日～2013年3月31日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

代表取締役社長 松田 芳明

2013年3月期の業績と配当につきまして

欧州財政不安や中国の景気減速等を背景に、当社の主力顧客である半導体・電子部品業界における生産が国内外で低調に推移したことから、同業界からの貴金属原材料の回収量が減少しました。また食品関連事業においては主力商品の市況が悪化したことなどから、当社の2013年3月期の連結業績は、売上高は前期比10.8%減の1,672億63百万円、営業利益は同18.6%減の55億68百万円となりました。経常利益は同13.4%減の60億85百万円、当期純利益は同4.7%減の40億8百万円となりました。このような業績を受け、期末配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり12円とし、第2四半期末配当金12円と合わせた年間配当金は、前期と同額の24円といたしました。

2013年3月期 ハイライト

貴金属関連事業

2013年3月
タイ・チョンブuriに営業所を開設

食品関連事業

2012年6月
中国・青島に現地法人を設立

2013年1月
タイ・バンコクに現地法人を設立

その他経営関連

2012年5月～2013年2月（複数回）
自己株式の取得を実施

グローバルでの事業基盤強化を進めています

貴金属関連事業では、グローバル競争が激化するなか、海外・国内の拠点の拡充に積極的に取り組み、顧客サービスの向上・強化に努めています。特にエレクトロニクス・電子部品の一大生産地である東アジアにおいて「No.1リファイナー」を目指し、本年3月にはタイの事業基盤を強化したほか、2012年2月から新工場を本格稼働させたマレーシアでは、現地顧客開拓を加速しています。フィリピンやベトナムにおいても、顧客企業の進出状況に応じた拠点強化を推進してまいります。また国内製造拠点の中心である入間地区の設備更新を進めており、本年秋に第1期工事が竣工する見込みです。

食品関連事業でも海外拠点の強化を進めるとともに、安全・安心・高品質な食品原料の供給による差別化を図

り、変化する需要業界のニーズに対応した販売の拡大に取り組んでいます。中国・青島では昨年6月、従来の駐在員事務所を現地法人に切り替え、品質保証機能の強化や現地調達先の新規開拓、中国市場への販売強化に取り組んでいるほか、本年1月にはタイ・バンコクにも現地法人を立ち上げました（詳細はP6トピックス参照）。

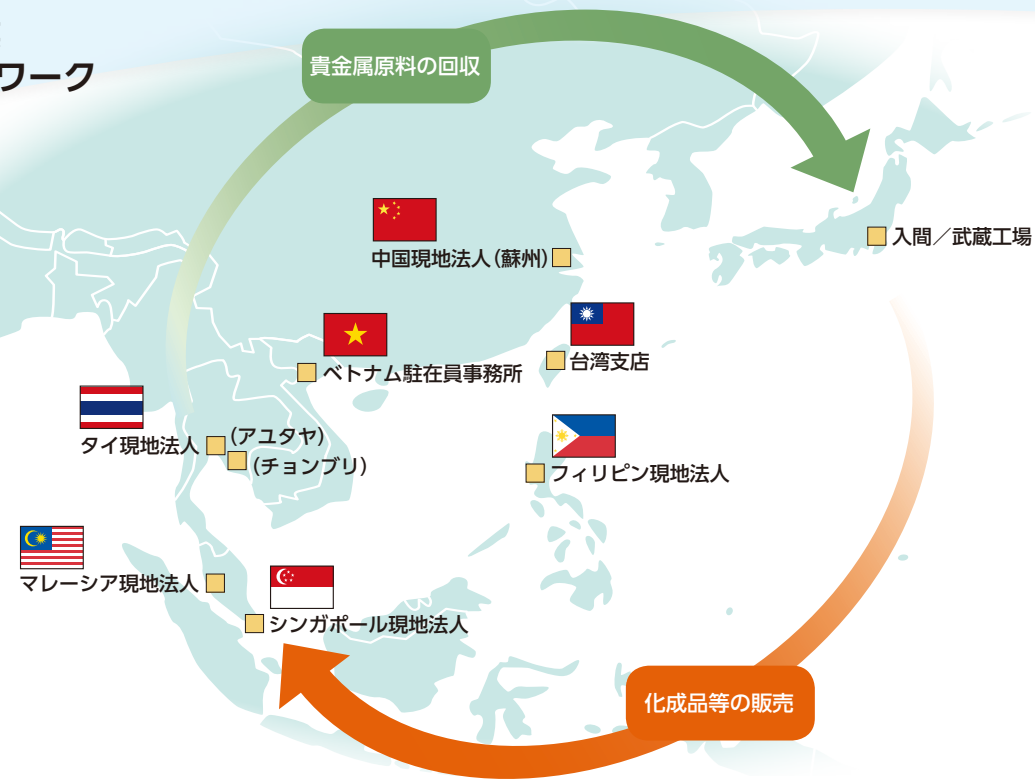
これからも当社は重要な社会的使命を帯びた企業として、貴金属関連事業を成長牽引部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた持続的成長を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

グローバルネットワーク & 営業概況

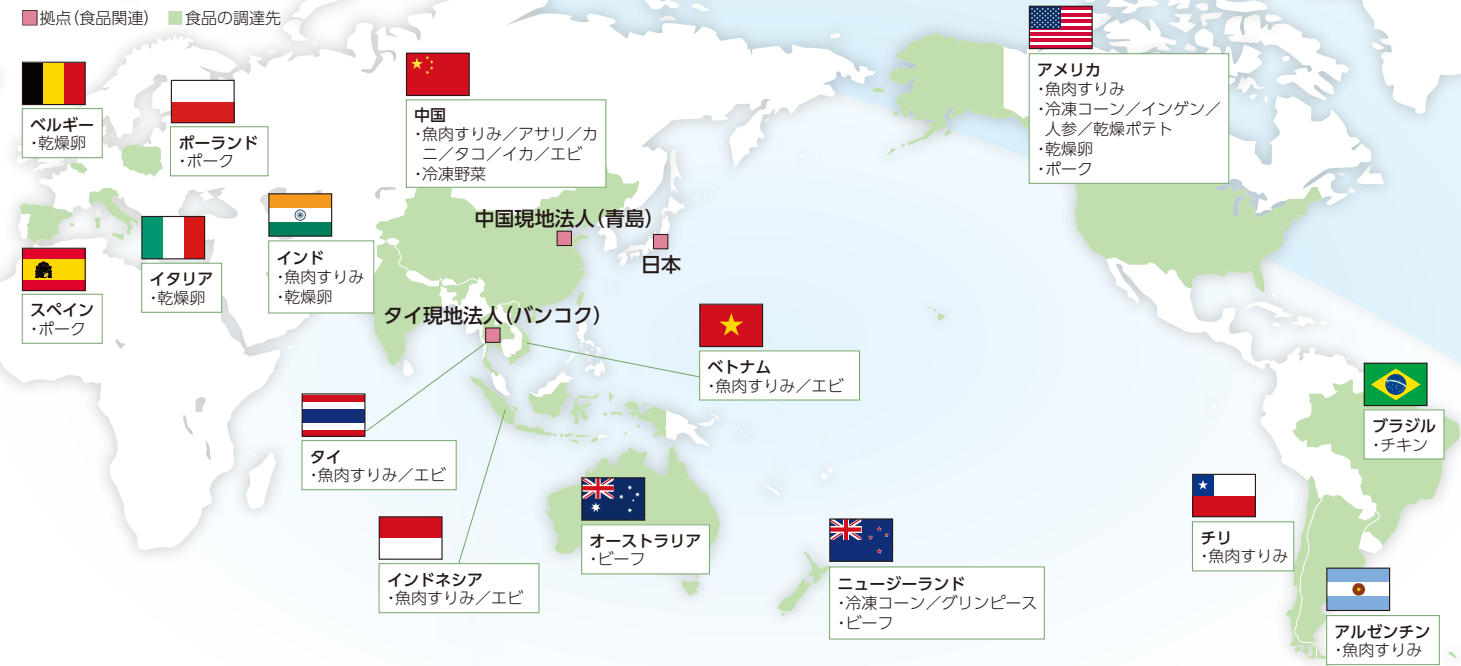
貴金属関連事業 東アジアネットワーク

■拠点 (貴金属関連)



食品関連事業の 拠点と主な調達先

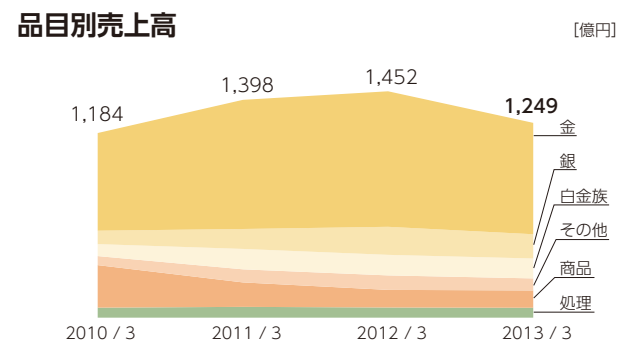
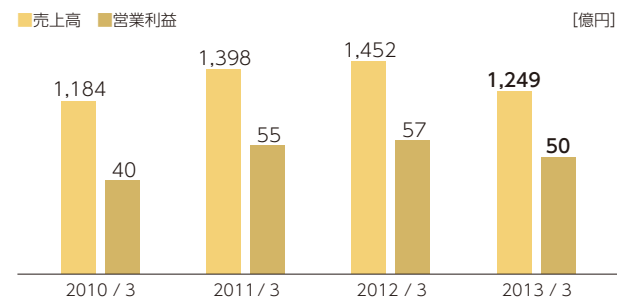
■拠点 (食品関連) ■食品の調達先



貴金属関連事業

売上高 **1,249 億円**
(前期比 14.0%減)

営業利益 **50 億円**
(前期比 11.6%減)



2013年3月期の業績

貴金属部門では、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産が総じて低水準で推移したことにより、貴金属化学品や電子材料等の販売量が減少しました。貴金属原材料の回収量も減少し、金、白金などの価格上昇はみられたものの、全体としての売上高は前期に比べ減少しました。環境部門では、対象業界の生産活動停滞の影響で取扱量が低水準で推移し、売上高は減少しました。

2014年3月期の見通しと施策

半導体・電子部品業界では緩やかな回復が期待されており、貴金属原料の回収量も徐々に増加することが期待されるなか、[「海外拠点の強化」](#)[「国内拠点の整備」](#)[「製品・技術の開発」](#)に取り組んでいます。

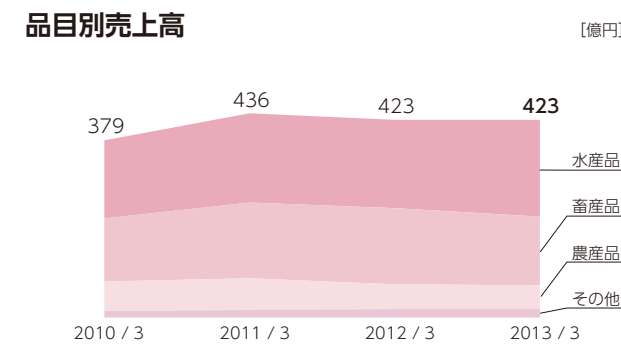
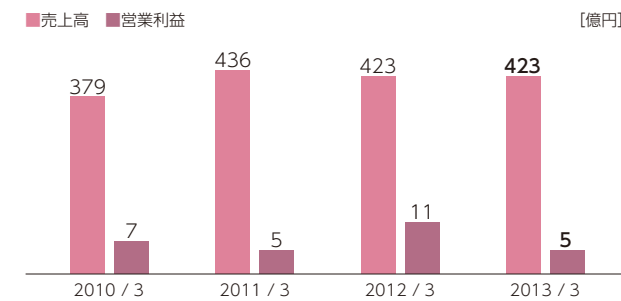
Q 貴金属地金の品質は、具体的には、どのように保証されているのですか？

松田産業の金、銀、プラチナ、パラジウム地金は東京商品取引所で認定を受けています。さらにロンドン金銀市場、ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケットでもブランド登録されており、高度な品質と技術が世界で評価されています。

食品関連事業

売上高 **423 億円**
(前期比 0.0%減)

営業利益 **5 億円**
(前期比 53.5%減)



2013年3月期の業績

第4四半期に入り景況感に改善の兆しがあったものの、デフレ経済下において固定化した消費者の低価格志向により、厳しい事業環境が継続しました。こうしたなか、水産品は市況悪化の影響を受けつつも販売量が増加し、売上高は前期に比べ増加しました。畜産品は畜肉販売量の伸び悩みなどにより売上高が減少し、農産品は、数量・価格の両面から減収となりました。

2014年3月期の見通しと施策

国内景況感の改善を背景に需要拡大が期待されるなか、[さらなる品質管理の徹底](#)、[トレーサビリティの強化](#)、[仕入先との関係強化](#)、[新規商材・新産地の開拓](#)に取り組み、収益性の確保を図ります。

Q 食品への安心・安全への取り組みは、どのように行われていますか？

ISO 9001 認証を取得した品質保証室が、微生物検査・鮮度検査・異物混入検査に加え、衛生管理・ほ場管理・使用農業管理による産地指導とトレーサビリティを実施しています。新産地・新商品についても、品質管理体制のチェックをサポートしています。

事業関連トピックス

貴金属関連事業

タイ・チョンブリ県に営業所を開設、事業拡大と災害リスク軽減へ

当社海外事業の最大拠点であるタイ現地法人の工場では、自社保有する製錬設備を核に、貴金属含有スクラップの回収や、電子部材・貴金属化成品の販売を行っています。

同国は2011年に大洪水の影響を受けたものの、電機、電子部品の世界的な供給基地であり続けることに変わりはありません。

当社も、同国で活動する様々な企業を対象に貴金属事業を拡大すべく、2013年3月、新たにMatsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd. Chonburi Branchを設立しました。

同営業所は洪水リスクの小さいチョンブリ県に立地し、自然災害に対する事業継続対策の一端を担うほか、タイ東部における貴金属関連事業の拡大に、重要な役割を果たしてまいります。



タイ現地法人 (アユタヤ)



チョンブリ営業所

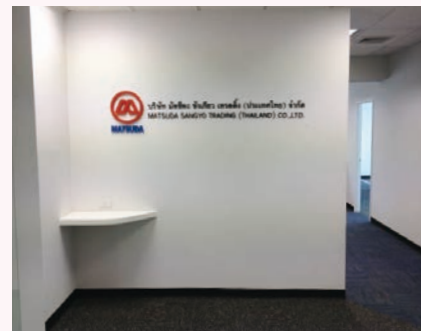
食品関連事業

現地法人をバンコクに新設、市場開拓と仕入れを強化

食品関連事業においても、東南アジアの成長に着目した取り組みを進めています。2013年1月にタイ・バンコクに設立したMatsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.は、ASEAN地域における食品原材料の販売市場の開拓と、現地における仕入れ強化に取り組んでいます。

ASEAN諸国は、エレクトロニクス製品や自動車の生産国として経済成長を遂げる一方、人口増加による内需拡大に伴い、食料消費国としての存在感も高まっています。

当社は従来より同地域で魚肉すりみや小型エビの原材料を調達してきましたが、今後は仕入れをさらに強化するとともに、拡大する内需へも、食品の輸入、卸売等によって応えてまいります。



タイ現地法人 (バンコク)

地域社会・国際社会とのかかわり (CSR)

国連WFP協会の活動に参加

2010年12月より、当社は「国際連合世界食糧計画 WFP協会 (国連WFP協会)」の評議員を務めています。同協会は、飢餓と貧困の撲滅を使命とする「WFP国連世界食糧計画」を支援する特定非営利活動法人です。世界の飢餓問題や「WFP国連世界食糧計画」の食糧支援活動に関する情報発信を行い、日本からの物心両面の貢献が格段に高まることを目指しています。

安心・安全な食品を安定供給するという使命を持つ当社は、同協会の評議員として、WFPと国連WFP協会の食糧支援活動に参加しています。例えば、東日本大震災の被災者に向けた救援物資の輸送活動に対し、寄付金の提供をはじめとするサポートを行っています。



国連WFP協会評議員パネル

入間市と連携した清掃活動を実施

当社は2010年に制定した環境方針において「地域社会への貢献」を掲げ、地域社会との積極的なコミュニケーション、環境保全施設の維持・管理と、環境保護活動、緑豊かな潤いのある環境づくりへの貢献に努めています。

武蔵工場、入間工場、入間第二工場、開発センターが立地する埼玉県入間市では、毎年6月の第1日曜日に、市の呼びかけによる「清掃デー」を開催しています。当社はその意図に賛同し、2006年より業務の一環として平日の清掃活動を実施しているほか、「清掃デー」当日には、当社拠点の周辺約100m範囲の清掃活動を行っています。収集したゴミは工場団地連絡会の協力で、入間市クリーンセンターに運ばれます。



入間市内工場周辺の清掃活動

障害者活動センターと20年以上の協力

地域の皆様に、当社事業を支えていただく取り組みも進めています。その一つが、入間市内の2つの授産施設との協力関係です。

入間市障害者活動センター「虹の郷」には、当社貴金属リサイクル事業の工程のうち、全国の病院から集められたレントゲンフィルムを袋から取り出す作業や、リサイクル用の半導体基板をビニールパッケージから取り出す作業を依頼しています。

同施設とこのような協力関係は20年以上になり、「虹の郷」のスタッフの皆様から、「皆、自分たちの仕事が世の中に貢献していることにやりがいを感じています」との声が届いています。また、同市内の授産施設「おおり」にも同様の作業を長年依頼しており、協力関係を構築しています。

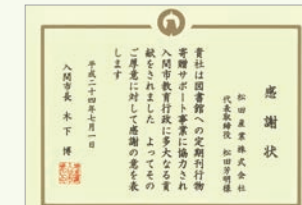


作業風景

公立図書館の定期刊行物購入を支援

当社は、特定非営利活動法人「地域活性化プラザ」が実施している、公立図書館への「図書・定期刊行物寄贈サポート事業」に参加しています。

「地域活性化プラザ」は、主に埼玉県において、地域活性化にまつわる諸課題の提起、提言、実践などを行う団体です。当社は同団体の入間市における「図書・定期刊行物寄贈サポート事業」において、2012年3月期に続き2013年3月期も、社会貢献や地域貢献の観点から協賛金を贈呈し、入間市立図書館での定期刊行物の購入に役立てていただきました。

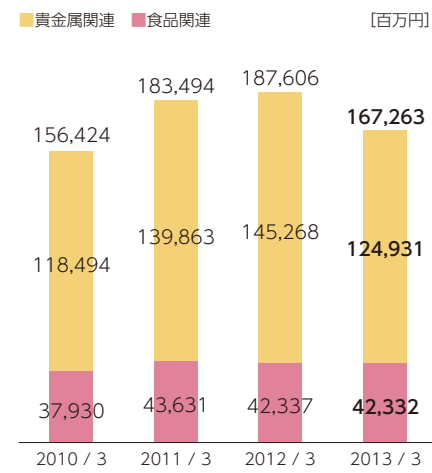


感謝状

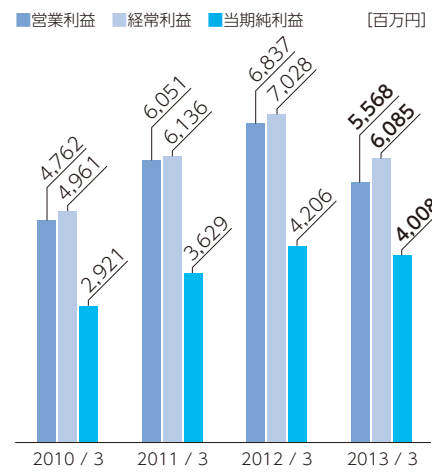


協賛金で購入された書籍

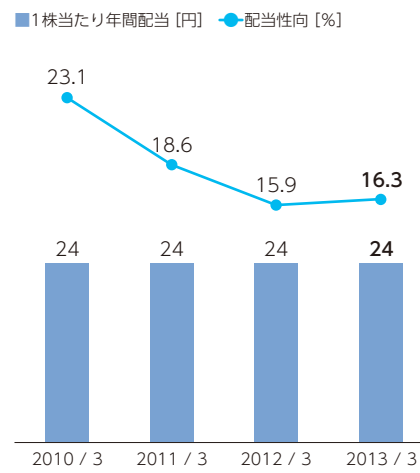
売上高



営業利益/経常利益/当期純利益

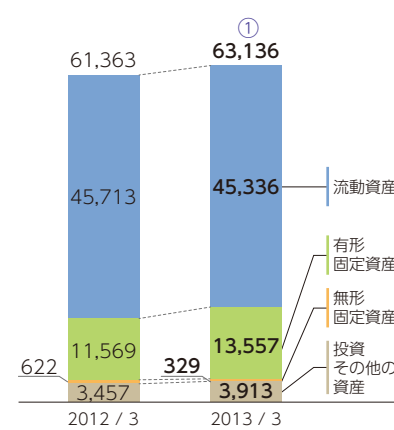


1株当たり年間配当/配当性向

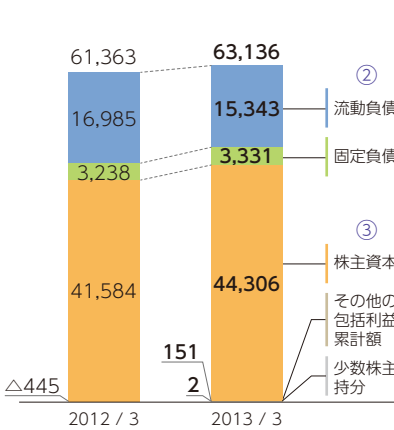


貸借対照表

資産の部

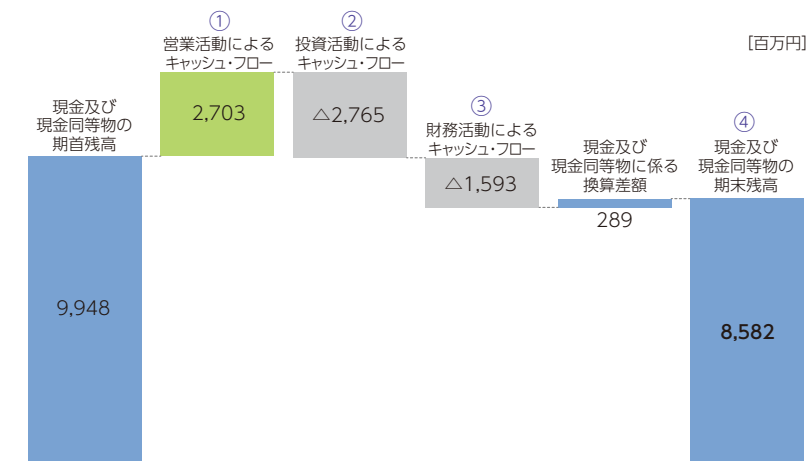


負債・純資産の部



- ①現金及び預金の減少を上回る棚卸資産・有形固定資産の増加等により、1,772百万円の増加となりました。
- ②仕入債務および未払法人税等の減少等により、負債の部は1,549百万円の減少となりました。
- ③配当金の支払と自己株式の取得等による減少を、当期純利益による増加が上回ったことにより、純資産の部は3,322百万円増加しました。

キャッシュ・フロー計算書



- ①税金等調整前当期純利益と法人税等の支払額および仕入債務の減少との差引等により、2,703百万円の収入となりました。
- ②工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得等により、2,765百万円の支出となりました。
- ③配当金の支払と自己株式の取得等により、1,593百万円の支出となりました。
- ④以上により、現金及び現金同等物の期末残高は前連結会計年度末から1,365百万円減少し、8,582百万円となりました。

会社概要

(2013年3月31日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数(連結)	965名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員一覧

(2013年6月26日 現在)

代表取締役社長	松田 芳明	監査役(常勤)	内山 敏彦
取締役副社長	對馬 浩二	監査役	谷 哲夫
専務取締役	徳永 庸夫		石原 猛男
常務取締役	細田 顕治		熊坂 博幸
	片山 雄司		
取締役	田代 芳孝		
	船本 正則		
	佐々木 隆茂		
	山崎 隆一		
	伊藤 康之		
	馬場 信明		
	木下 敦視		

事業所

- (2013年3月31日 現在)
- 貴金属事業部** 本部 / 仙台 / 水戸 / 東京 / 長野 / 名古屋 / 大阪 / 金沢 / 福山 / 福岡 / 鹿児島 / シンガポール(現地法人) / タイ・アユタヤ(現地法人)・チョンブリ(営業所) / フィリピン(現地法人) / マレーシア(現地法人) / 中国・蘇州(現地法人) / 台湾(支店) / ベトナム(駐在員事務所)
 - 食品事業部** 本部 / 仙台 / 塩釜 / いわき / 東京 / 小田原 / 名古屋 / 大阪 / 福岡 / 品質保証室 / 中国・青島(現地法人) / タイ・バンコク(現地法人)
 - 環境事業部** 本部 / 仙台 / 埼玉 / 東京第一 / 東京第二 / 水戸 / 神奈川 / 名古屋 / 大阪 / 福岡
 - 生産本部** 武蔵工場 / 武蔵第二工場 / 入間工場 / 入間第二工場 / 開発センター

グループ会社

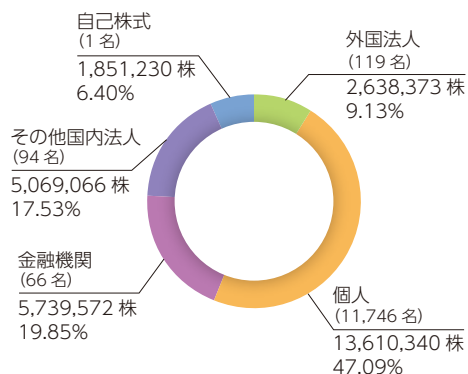
(2013年3月31日現在)

貴金属関連	マツダ環境(株)	貨物自動車運送・貴金属製品販売
	北海道アオキ化学(株)	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
	日本メディカルテクノロジー(株)	金属原料の回収・販売
	ゼロ・ジャパン(株)	真空加熱分離装置(VTR)の設計・製造・販売および保守
	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
食品関連	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	日鉄住金マイクロメタル(株)	電子工業用金属製品の製造・販売
	マツダ流通(株)	貨物自動車運送および食品加工原材料の販売
	松田商貿(青島)有限公司	食品加工原材料の販売、仲介
	Matsuda Sangyo Trading (Thailand) Co., Ltd.	食品加工原材料の販売、仲介

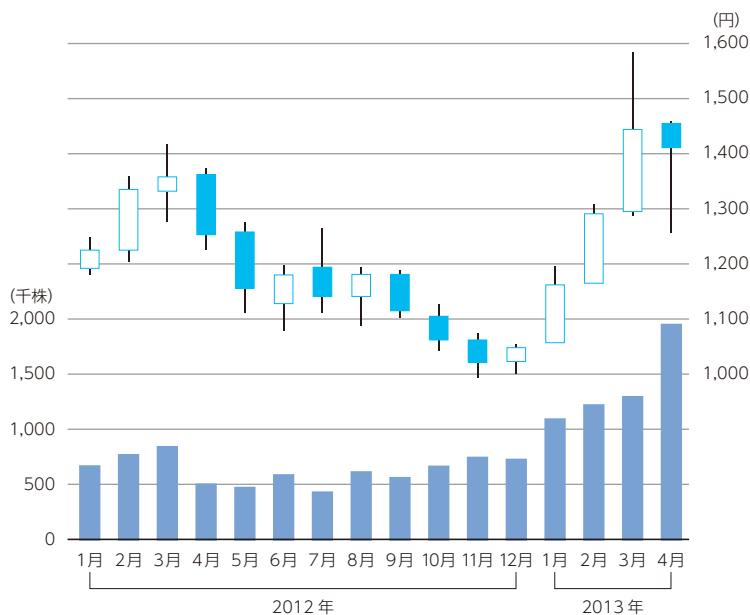
株式の状況 (2013年3月31日 現在)

株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	12,026名

所有者別分布状況 (2013年3月31日 現在)




株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

- 対象株主**
毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。
- 優待の内容**
一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。

- 贈呈の時期**
毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業 検索 [トップ画面](#)

さらに見やすく、わかりやすいホームページにリニューアルしました。ぜひ、ご覧ください。



松田産業株式会社

証券コード: 7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

